

1. 教員養成の目標（大学院）

◎生涯学習学研究科 生涯学習学専攻

教員養成の目標

「自ら学び、自ら考える力などの『生きる力』という生涯学習の基礎的な資質を育成する」という教育文化学部で培った知識・技能を一層高め、さらに、生涯学習に関する学校や地域からの要請並びに社会の変化に積極的に対応し、新しい時代の期待に応え、生涯学習の振興に資することのできる指導者を養成することである。

取得可能な教育職員免許状

- ・ 幼稚園教諭専修免許状
- ・ 小学校教諭専修免許状
- ・ 中学校教諭専修免許状（音楽、美術）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（音楽、美術）
- ・ 特別支援学校教諭専修免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

目標とする教員像

主要な指導方法・授業技術である「発問」「板書」「学習形態」などの工夫や心理学・特別支援教育における「発達」に関わる諸問題の理論的基盤の理解や指導についての大学院レベルの専門性を身につけた教員を養成する。さらに、学校心理学を視座にした生徒指導、教育相談（カウンセリング）、アセスメント、キャリアガイダンスなどの日常の学校生活を通じた児童生徒の自己実現を援助できる教員を養成する。

◎生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻

教員養成の目標

教職に対する強い情熱を持ち、氷雪寒冷圏域における健康・スポーツに関する高度な専門的知識を修得し、科学的な根拠に基づく指導が可能な保健体育科教員の養成

取得可能な教育職員免許状

- ・ 中学校教諭専修免許状（保健体育）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（保健体育）

目標とする教員像

- (1) 氷雪寒冷圏域における生涯スポーツの特長を理解し、生徒が運動やスポーツの知識・技術を修得し、生涯にわたり運動やスポーツを実践することを、科学的根拠、科学的方法に基づき指導できる教員
- (2) 氷雪寒冷圏域における気候・環境要因について理解し、健康・安全に関する知識を、最新の研究成果・エビデンスに基づきながら指導し、生徒が生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく力を身につけさせることができる教員
- (3) 教育に対する使命感、生徒に対する深い教育的愛情を持ち、同僚・保護者・地域住民と協力し、ともに教育活動を行うことのできる教員